

学部 / 人間科学領域 / 社会の理解

科目コード:110202

## 社会福祉論 Social Welfare

担当教員	田中 純一(非)										
実務経験											
開講年次	1年次後期	単位数	1			授業形態	講義				
必修・選択	必修	時間数	15								
該当ディプロマポリシー	(1)		(2)		(3)	○	(4)	◎	(5)		(6)
Keywords	地域福祉、社会保障、住み続ける権利										
学習目的・目標	<p>この講義では人間の尊厳や基本的人権の理念に触れつつ、医療・福祉の現場で個人の尊厳や基本的人権を守る上で必要な今日的視点について、高齢者、障がい者、ひとり親世帯など焦点を当てながら考えていく。また日本及び世界各地で発生する自然災害について取り上げつつ、生活復興過程で可視化される諸課題を検討し、目の前の一人に向き合うことの必要性について考えていく。</p> <p>【目標】①基本的人権について理解する。②社会保障制度の基本的枠組みと機能について理解する。③住み続ける権利について理解する。</p>										
授業計画・内容											
回	内容										
1	オリエンテーションー社会保障とはなにかー										
2	生活保障と人権 日本国憲法、世界人権宣言を中心に										
3	公的扶助とは何か(1)生活保護法										
4	公的扶助とは何か(2)生活保護法の実態と今日的課題										
5	災害弱者とは誰のことか:被害の不平等性から考える										
6	自然災害と地域コミュニティ										
7	災害復興と住み続ける権利										
8	まとめ										
教科書	特に使用しない										
参考図書等	井上英夫『住み続ける権利ー貧困、震災をこえてー』新日本出版社,2012ISBN:9784406055680										
評価指標	講義内小テスト20%、レポート課題30%、期末テスト50%で総合評価する。										
関連科目											
教員から学生へのメッセージ	講義関連資料は適宜配布する。講義出席に際しては、事前に配布された資料等をしっかりと読み込んでから出席すること。										